

防災だより

平成 27 年 5、6 月第 32 号
下田市地域防災課防災係
Tel.0558-36-4145

◆全国瞬時警報システム（Jアラート）の試験放送を実施しました。

防災だより第 31 号でお知らせしましたが、平成 27 年 5 月 27 日に地震・津波や武力攻撃等の緊急時に、全国瞬時警報システム（J-ALERT）から送られてくる国の緊急情報を、同報無線を用いて市民の皆さんへ確実にお知らせするため、緊急地震速報の試験放送を実施しました。災害時には、市民の皆さんへより早く確実な情報を発信できるよう今後も努めていきます。

○緊急地震速報とは

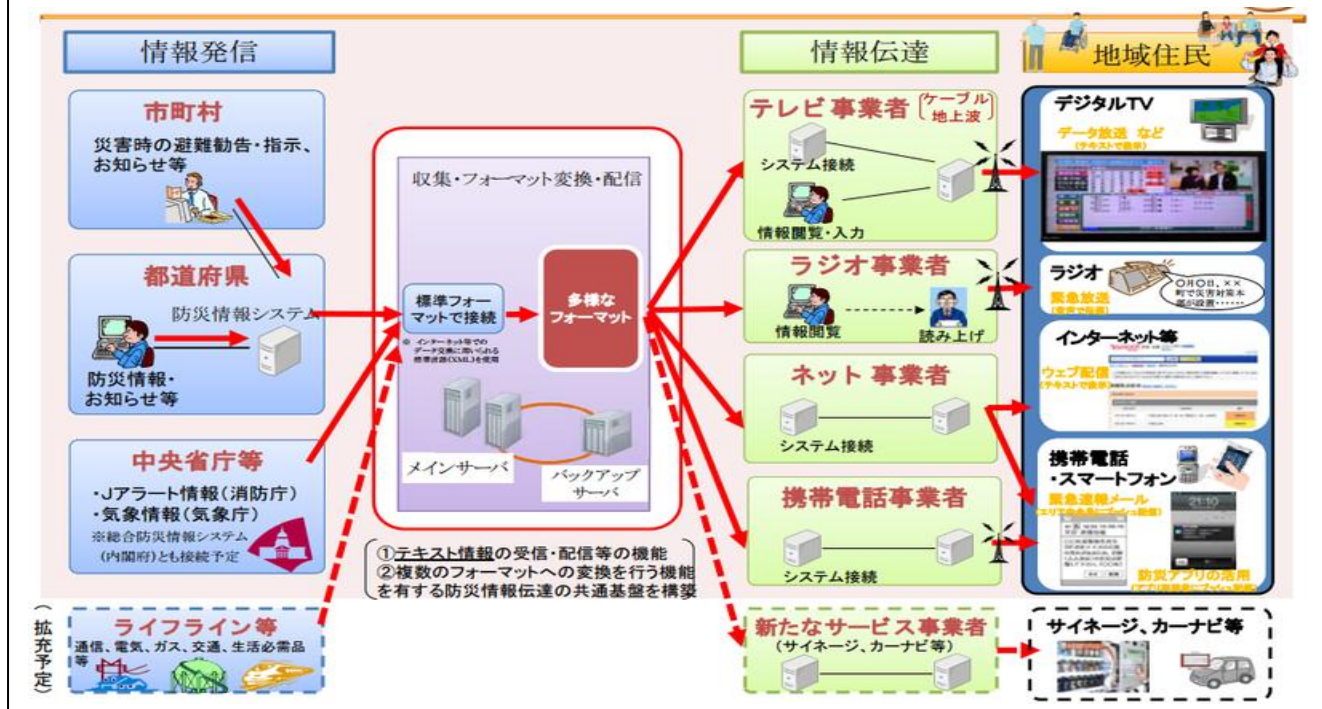
緊急地震速報は、地震の発生直後に、各地での強い揺れの到達時刻や震度を予想し、可能な限り素早く知らせる情報のことです。強い揺れの前に、自らの身を守ったり、列車のスピードを落としたり、あるいは工場等で機械制御を行うなどの活用がなされています。

◆災害情報共有システム（Lアラート）の合同訓練を実施しました。

平成 27 年 6 月 4 日に全国 31 都道府県において、災害情報共有システム（Lアラート）の合同訓練を実施しました。このシステムにより、行政機関が発信する災害情報を情報配信事業者が共有し、テレビやインターネット等で配信することで、市民の皆さんが様々な方法を使ってより速く情報を入手できるようになります。

○災害情報共有システム（Lアラート）とは

安心・安全に関わる公的情報など、住民が必要とする情報が迅速かつ正確に住民に伝えられることを目的とした情報システムです。



◆土砂災害防災訓練を実施しました。

平成27年6月7日、北湯ヶ野地区の自主防災会で土砂災害に対する警戒避難体制の強化と防災意識の高揚を図るため、土砂災害防災訓練を行いました。当日は北湯ヶ野地区の住民約45名が参加し、避難訓練、土砂災害講座、ハザードマップ作成等、地域住民が一体となって訓練を行いました。ハザードマップ作成では、地域住民だからこそ分かる危険個所や、支援が必要な住民はどこに住んでいるか等、活発な意見を出し合ってもらえました。

災害時には情報伝達、避難勧告等の発令、避難行動が必ずしもスムーズに行われるとは限りません。また、要配慮者と言われる高齢者の被災率が高く、要配慮者に対する警戒避難体制の整備や避難支援等が重要課題となっています。



◆防災用簡易トイレを寄贈していただきました。

平成27年6月18日、ネットヨタ静岡様から 昨年度に引き続き下田市へ防災用簡易トイレを400枚寄贈していただきました。災害時にトイレが使えなくなる事は、非常に大きな問題となっています。

いただいた防災用品は、災害時に有効活用できるように市内広域避難場所に配備します。

